

# 子育て中の外国人 学校での会話学ぶ

## 徳島市 日本語講座始まる

子育て中の県内在住外国人を対象にした「保護者のための日本語講座」(県労働者福祉協議会主催)が3日、徳島市昭和町3のわくびあ徳島で始まった。来年3月まで計24回あり、学校を訪れた際の会話やマナーなどを学ぶ。

フィリピンや中国から移り住み、0歳児から高校生までの子どもを持つ男女7人が受講。外国人の支援活

動に取り組む市民団体・JTMとくしま日本語ネットワークのメンバーが講師を務めた。

「動に分かるよう、しっかりと勉強したい」と話した。

講座は毎週水曜日に開き、2回目以降の受

講も可能。問い合わせは、県労働協〈電088(625) 8387〉。

(橋本真味)



学校での会話などについて学ぶ県内在住外国人＝徳島市昭和町3のわくびあ徳島

受講者は、面談などで学校を訪問した場合を想定し、「先生に会いたいです」「いつもお世話になっています」などの会話を練習。校舎内ではスリッパに履き替えたり、教師に普段のお礼を言ったりする慣習も学んだ。

小学1年の子どもを持つ相原ルビーロサさん(39)＝松茂町、パート従業員＝「学校の